

令和6年度 野庭地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方向性

<地域の現状>

- ・昨年コロナウイルスの分類が2類から5類へ変更となり、地域の活動は元の活気を取り戻しつつあります。地域活動が制限された3年ほどの間に地域の活動状況やケアプラザの体制などにも変化がありました。変化した地域状況の再把握と情報発信が必要です。
- ・数年間に及んだ外出控えや活動の制限が人々の生活習慣にも変化をもたらし現在でも影響を残しています。人との交流や健康づくりの重要性を再認識し、再び取り組むための働きかけが必要となっています。
- ・野庭エリアは急速な高齢化に伴い、認知症高齢者も増加し日常生活において多種多様な問題が発生しています。
- ・小さなコミュニティ(町会、フロア、階段単位等)での見守り、助け合いができる仕組みが求められています。
- ・複雑な事情を抱えたご相談が増え、対象者の支援に限らず、家族も含めた世帯全体の支援が求められています。

<今後の方向性>

- ・総合相談対応の充実(関係機関、団体との連携強化)
- ・地域包括ケアの推進(見守り事業、介護予防・生活支援事業、地域支援者サポート等)
- ・地域活動活性化のための支援
- ・港南ひまわりプランの推進

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|---|---|---|
| ■ | □ | <p>必要な情報を必要とする人に届けるために、情報発信に力を入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザの活用方法を伝える出前講座をはじめ様々な出前講座を開催することでケアプラザのインフォメーションする機会を増やします。 ・ケアプラザ協力医による「医療講座」を地域住民対象に1回/月程度開催し医療情報を発信、交流の場とします。 ・ケアプラザホームページに地域の生活支援情報を掲載します。 ・野庭エリアで活用できる「のば生活お役立ち情報通信(ケアマネジャー向け)」を作成、発信致します。 ・有償送迎サービス・同行サービス一覧を更新します。 |
| □ | ■ | <p>子育て支援事業・権利擁護事業に力を入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はっぴ〜☺たいむNOBA事業(ケアプラザの子育て支援事業の総称)を様々な内容で展開していきます。地域の幼稚園や保育園、地域の活動団体の皆さんや ボランティアの方々の協力を頂きながら地域の子育て情報の発信や子供に関する講座、リトミック等の開催を継続して行っていきます。 ・地域の子育て関連の団体や事業所と情報共有・意見交換の場を作ります。 ・成年後見制度の普及啓発と共に成年後見制度の申し立て手続きの支援をいたします。 ・高齢者虐待防止のための普及啓発と共に、介護者の集いを開催し介護者の方の支援にも力を入れます。 ・終活支援としてエンディングノートやもしも手帳の活用が出来るよう講座を開催します。 |
| □ | ■ | <p>野庭地域において認知症の理解や支え合いの輪が広がるよう普及啓発に力を入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「NOBAメイトの会」と連携し、地域の方や小中学生を対象に認知症サポーター養成講座を開催します。また野庭ふれあいまつりで多世代の方を対象に認知症啓発活動を行います。 ・認知症普及啓発活動を行うキャラバンメイト(NOBAメイトの会)のお仲間を増やす取り組みとしてキャラバンメイト講習会の周知や声掛けに力を入れます。 |

☐	☒	野庭エリアの地域活動の活性化や見守り体制強化のための支援に力を入れます。 ・地域のサロンと連携し身近な場所で介護予防講座を開催します。ケアプラザを活用した事のない方や移動が大変な方にも介護予防に取り組むきっかけとなるよう働きかけます。また取り組みが継続できるよう支援します。 ・各地域では住民が主体となり工夫して見守り活動をされています。住民主体の活動をする上で個人情報の取り扱いが大切です。そのような研修の要望があれば支援をさせていただきます。 ・それぞれの地区の見守りネットワーク会議や意見交換会の場を「見守り、支えあい」を実現させていくために地域ケア会議の活用も検討します。
☐	☒	港南ひまわりプラン及び地区別地福計画を推進いたします。 ・包括エリア(野庭団地地区、野庭住宅地区、永野地区)について、地区別計画を元に、どのような取り組みが行われているか、エリア内居宅支援事業所を中心に、情報提供する場を設定いたします(1回/年)。その後、各地区の意見交換会にケアマネジャーが参加できるよう調整を行います(1回)。 ・7月開所予定の上永谷駅前地域ケアプラザがスムーズに「くじら計画」を推進支援できるよう支援チームメンバーとして情報提供、共有、連携をしていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

「必要な情報」を「必要としている人」に届けるため、今年度は、ケアプラザの活用方法の出前講座をはじめ、ケアプラザのホームページ更新やケアプラザ協力医による医療講座を通して医療情報などの発信にも力を入れました。貸館利用や自主事業、地域支援に関する事業にも積極的に取り組みました。子育て事業「総称はっぴ〜◎タイムNOBA」は季節ごとの企画に地域のボランティアの方々や貸館団体、幼稚園・保育園等の協力を頂き定着してきました。権利擁護事業では地域の集いの場「出前カフェ」でエンディングノートの出前講座を開催し、終活について情報発信し、具体的に取るよう働きかけました。認知症の理解や支え合いの輪が広がるように地域のキャラバンメイトの皆様と共に認知症サポーター養成講座を開催しました。来年度から始まるチームオレンジに向けて地域の皆様との連携を深めていきます。地域活動の活性化の取り組みとして、身近な地域のサロンで介護予防講座や出前講座を開催しました。生活支援体制整備事業では、区役所、区社協と連携し、移動販売の支援や地域の皆様や見守り協力事業者等との顔の見える関係作りに力を入れ見守り体制強化に努めました。地域住民が中心となり区役所、区社協、ケアプラザが協働で取り組んでいる港南ひまわりプラン及び地区別地福計画は、第5期の策定を見据えて地域の方々が開催する推進委員会や意見交換会等に積極的に参加し丁寧に支援させて頂きました。次年度も野庭地域の福祉保健の拠点として役割を果たしていけるよう地域の皆様、各関係機関・関係団体と連携し個別支援、地域支援に努めて参ります。

☐ 区からのコメント

新規の取組として掲げた「必要な情報」を「必要としている人」に届けるため、ホームページの更新や協力医による医療講座の充実など、地域住民のニーズに合わせたさまざまな情報発信にご尽力いただき、感謝いたします。

近隣の幼稚園や保育園等に協力を仰ぎながら定着してきた子育て事業は、今後も地域の子育て世代にとって安らぎの場となるよう継続的な支援をお願いいたします。

また、複合的な課題を抱えた相談や緊急対応が必要な相談が増えています。区や関係機関と連携し、フットワーク良く対応していただき、ありがとうございます。権利擁護や虐待に関しては、出前講座を実施することが関係機関からの早期の制度利用や虐待の早期発見に繋がっています。相談件数は増加していますが、引き続き、早期対応に向けた働きかけをお願いいたします。

地域ケア会議は「見守り・支え合い」をテーマに実施し、見守りを広げるための情報交換のほか、小さな配慮や気づきが見守りになっているという共通認識を確認することができました。次年度の実施については、開催に向けたより良い準備ができるよう、区も協力させていただければと思います。